



# 八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

## 小さい勇気をこそ

東井義雄

人生の大嵐がやってきたとき  
それがへっちゃらで乗り越えられるような  
大きな勇気も欲しいにはほしいが  
わたしは小さい勇気こそほしい

私の大切な仕事をあとまわしにさせ  
わすれさせようとする小さな悪魔が  
テレビのスリルドラマや漫画にばけて  
わたしを誘惑するとき  
すぐそれをやっつられるくらいの  
小さい勇気でいいから  
わたしはそれがほしい

(中略)

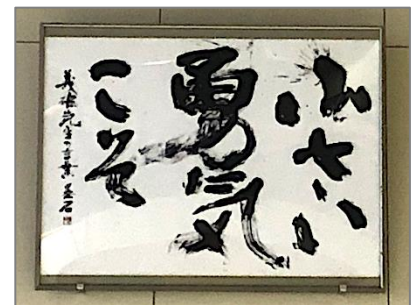
紙くずがおちているのを見つけた時は  
きづかなかったというふりをして  
さっさといっちなまよ

かぜひきの鼻紙かもしれないよ  
不潔じゃないかと呼びかける小さい悪魔を  
すぐやっつけてしまえるくらいの  
小さい勇気こそわたしはほしい

どんな苦難も乗り切れる  
大きな勇気もほしいにはほしいが  
毎日小出しにして使える小さい勇気でいいから  
それが わたしは たくさんほしい

それに  
そういう小さい勇気を軽蔑しては  
いざというときの  
大きい勇気も つかめないのではないだろうか

- 今月の東井先生の言葉は「小さい勇気こそ」です。小さい勇気。それは大きな敵や困難をけちらしていくような勇ましさとは少しイメージが違います。私たちは日々の生活の中で、様々な「なまけ心」や「誘惑」と戦っています。東井先生はそれらを「小さい悪魔」と表現しておられます。つくづく生きていくことは「小さな悪魔との葛藤」と「小さな決断」の連続であることに気づかされます。子どもたちにとって、小さな勇気を重ねていくことが、粘り強さや胆力や正しい判断力の礎となっていくのでしょう。
- この東井先生の言葉に合わせて今月の月目標は「友だちの小さい勇気を見つけて伝えよう」です。子どもたちが見つけた友だちの「小さい勇気」を昇降口に掲示したり、お昼の放送で紹介したりしています。子どもたちどうして「小さい勇気」を発見しあっていることが、とても嬉しいです。
- 最近、「メタ認知」という言葉をよく聞きます。子どもたちに必要な資質・能力として、新学習指導要領にも取り上げられ、重視されている概念です。抽象的でわかりにくいのですが、大雑把に言うと「自分が認知していることを客観的に把握し、制御すること」「認知していることを認知すること」と言えます。
- 友だちや自分の「小さい勇気」を見つけたり、意識したりすることは、メタ認知を働かせるのに極めて効果的だと思います。自分や友だちの行動について「どんな小さな悪魔が自分の中にくのか」「それに立ち向かってどんな小さな勇気を出したのか」「どんなふうに葛藤したのか」を振り返る作業です。自分の中の「小さな勇気を使えた」という自覚と納得の経験が、メタ認知を育み、自己肯定感を大きくしていくのではないかと思います。



多目的ホールに掲げられている書



昇降口の掲示板

## □ 後期児童会役員選挙 10月5日

久しぶりにオンラインではなく“立会”演説会を実施することができました。自分の中の勇気を振り絞って立候補した10人の立候補者。それは決して“小さな”勇気ではなく、大きな決断が必要だったはずで、八鹿小をよりよくしていくためのプランを自分で考え、それを自分の言葉で全校生に表明する。立候補者も応援者も堂々と演説することができました。



## □ オープンスクール 10月11日

今年度2回目のオープンスクールを実施しました。たくさんのご来場をいただき、ありがとうございました。子どもたちにとって、保護者の方が学校に来られる日はやはり特別です。張り切って授業に取り組んでいました。八鹿っ子が元気に活動する様子を見ていただきました。



## □ 低学年の「英語で遊ぼう」

いつもは高学年の外国語科に入っているALTのマディ先生が、2学期から不定期で低学年の授業にも入ってくださっています。1年生は、教室にマディ先生をお迎えして大喜びでした。ゲームを通して英語での自己紹介に挑戦したり、色の言い方を教えていただいたり、楽しみながら英語に親しむ機会となっています。



□ 10月11日、第2回の学校運営協議会を開催しました（\*夏休み中に臨時協議会を開いているので、実質的には3回目の開催）。委員の皆様には、毎回、とても建設的な意見をいただき、白熱した協議になります。今回も赤米学習のより効果的な進め方や教員のサポート、通学路の安全対策等、日々の課題から、まちづくりや未来づくりといった子どもの将来も見通したスケールの大きな話題にも及びました。地域にさらなるご協力いただくためにも、学校としての方針や姿勢を引き続き示し続けていきたいと思っております。

□ 八鹿小学校マラソン大会を10月21日（金）に開催いたします。会場は昨年度に引き続きYBファブ周回コースです。ご多忙の折とは存じますが、保護者・地域の皆様も、ぜひ応援にきていただきたく思います。八木川のほとり、芝生の緑が映えるすばらしい環境の中で、歯を食いしばって走る八鹿っ子の背中を、声援と拍手で押してやってください。

9:20	2年生スタート	9:30	1年生スタート	10:00	3年生スタート
10:10	4年生スタート	10:40	5年生スタート	10:50	6年生スタート

□ 2年間、修学旅行の行程の中で実施していた“赤米献上の儀”を、今年度は11月2日（水）、「赤米献上の旅」にて執り行います。“赤米献上の儀”は、小佐の田で収穫した赤米を、奈良平城宮で献上する儀式です。赤米献上隊として、3年ぶりに本校6年生と地域・保護者の代表の方々がいっしょに奈良に赴くことができることを、とてもありがたく思います。今回の赤米献上の儀は、3月に復元されたばかりの大極殿院大極門（南門）で執り行われる予定です。